

ステキ新聞

4

発行所
三重県立美術館新聞社
〒514-0007 津市大谷町 11 番地
TEL (059)227-2100 (大代表)



※手元はみえません。

きょうの展示 (てんじ)

異国にて・画家のまなざし
いっくん はっけん
しんべん はっけん
身边的発見・日常の冒険
くうそう どうけい
空想・憧憬
みち せかい
未知の世界へ

[illegible]

こんごのきぶんは？

未知の世界は芸術の道！

「わからん世界がステキな世界の入口」

(うさぎ) ちよっと、この新聞(しんぶん)の見出(みだ)しの「みち」がI学芸員(がくげいいん)のよう(よう)なダジャレになつとつて気分(きぶん)、落(お)ち込(こ)んだ人もおるかもしれへんけど、とうとう最後(さいご)の最後(さいご)になつてしもたわ! 小学生(しょうがくせい)しょうがくせい)でいえば6年生(ねんせい)、中学生(ちゅうがくせい)でいえば3年生(さんせい)、おとなでいえば定年前(ていねんまえ)え! これからの人生(じんせい)が楽(たの)しみやでえ!

(きつね) なあなあ そんなこと
いまは関係(かんけい)ないわ。
それにしても、ここの部屋(へや)
に飾(かざ)ってる作品(さく品)さくひん、
さっきまでのとだいぶんちがうな
あ。

(うさぎ) うちの太公望(たいこうぼう) うほう) じいちゃんがわからん、わからんって困(こま)りよる作品(さくひん) ばつかりや。そやけどな、ぼくはいっぱい感(かん)じるでえ! 語(かた)れるでえ!

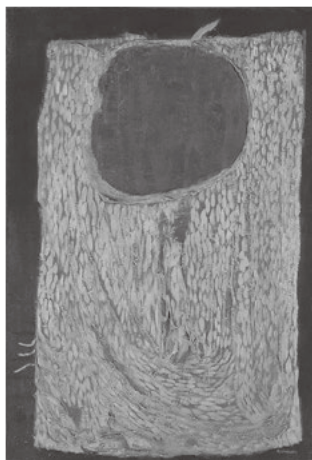


寺田政明 (てらだまさあき)
《漁婦 (りょうふ)》
1941年 (ねん)

(きつね) 人(ひと) がいっぱい
集(あつ) まつとる絵(え) やと思(おも)
も ったらそんなことないやんか。
何(なに) がどうなつとんのさ？

(うざぎ) 右におるのは怒(おこ)つ
 とるおばあちゃんやろ、それから
 あとは・・・「なまこ」というか、
 なんとというか・・・、そやつ!
 海(うみ) っていうたら、だいたい
 こんな感(かん) じやんか。わから
 んもんがいはいあつて。

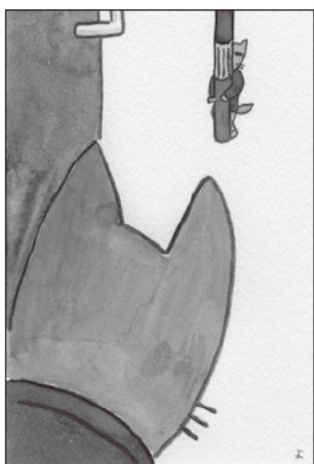
(きつね) たぶん、今日 (きょう)



桂（かつら）ゆき 《作品》 1958年

は魚(さかな)がぜんせんとれやんだで、あんたらが悪(わる)いんちがうかって、おばあちゃんが怒(おこ)つとるんやろな。

(うさぎ) おもしろいこと言(い)うやんか、きつね。たしかに「なまこ」みたいなもんがみんなごめんなさいっていうとるみたいやもんな。・・・ほんとうは何(なに)しとるんか、わからん作品さくひん見(み)たときは、ほかの人に聞(き)くのもええけど、かってにいろいろ想像(そうぞう)してみるとおもしろいな。それにな、寺田(てらだ)さんもたぶん何(なに)かわからんけど描(か)いてみたかもしれへんわ。



どっちもたんでいきぶん

（きつね）こんどは桂（かつら）さんの絵（え）やけど、題名（だいめい）が作品（さくひん）やて。こまったなあ。

(うさぎ) 元永定正(もとながさだまさ)さんとか、斎藤義重(さいとうよししげ)さんとか、けつこう「作品」っていう題名(だいめい)つけとる。湯原和夫(ゆはらかずお)さんなんかは「無題(むだい)」になつてる。つまりやなあ、題名(だいめい)をつけやんつてことは、それこそ花とか景色(けしき)とかマグロとかを見(み)ながら描(か)いたんやなしに、ほとんど何(なん)もないところから出発(しゅつぱつ)したわけや。さっきの部屋(へや)で見た「ものがたり」とか伝説(でんせつ)の人を描(か)いた作品(さくひん)なんかも、本当(ほんとう)のものとか人を見ながら描いたわけやないけど、ラクダとか人とか、モデルをつかったりすれば描けるわけやで、とつかりはあるわけや。こっちの「作品(さくひん)」とか「無題(むだい)」の絵(え)のほうが、もつと描くの、たいへんかもしれやんで。

(ぎつね) でも、楽(たの)しそ
うな。
(うさぎ) まつ、そういうふう
にもいえるかもしれやんな。

(きつね) ルビオさんの作品(さくひん)、もやもやっとしとって、はじめて見(み)るのに何(なん)か、なつかしい感(かん)じもするわ。うちの近(ちか)くの古(ふる)い壁(かべ)にできた模様(もよう)とか、工事現場(こうじげんば)においてあるさびた鉄(てつ)の板(いた)とか、そんな感じがするわ。

(うさぎ) 萬古焼(ばんこやき)といふよりは備前焼(びぜんやき)に近い感じ。

(きつね) そんな感じはわかん
わ。でも、この作品(さくひん) 見
てたら、すごく自然(しぜん) な感
じがしてくるんさ。

(うざぎ) 芸術作品(げいじゅつ)きくひん) って、ぼくらにあたらしい世界(せかい)を見せてくれとるけど、その世界に気(き)づくんは、ぼくらのからだの中にも自然(しぜん)な感じがあるから、それがひびくんやな。

※本日（ほんじつ）の「美術館抄（びじゅつかんしょう）」は原稿（げんこう）しめきり1時間前（じかんまえ）のため、お休みします。

ルビオ 《DCⅢ》 1990年

